

自制と寛容

鶴居村教育委員会教育長 村上明寛

昨年秋、作曲家のすぎやまこういち先生が亡くなりました。私にとって大切な人がこの世を去り、喪失感にかられています。

ドラゴンクエスト…今から36年前、妻が友人から借りてきたのがきっかけでした。以来、妻とその後生まれた娘と3人、すぎやまこういち先生のファンファーレのもと、時に助け合い、時に抜け駆けしながらも切磋琢磨し、このゲームとともに過ごしてきました。予約の長蛇の列に並んだり、抱き合わせ商法に憤慨したり、買って帰る途中に襲われるのではないかと心配したり（実際にそういう事件が起きていた）と思いは尽きません。今でこそ、家族3人各自のゲーム機で遊んでいますが、娘が中学生のころまでは、1台のゲーム機で1つのソフト。はっきり言って取り合いです。「お父さん、早く代わって」「お父さんばかりずるい」と言われながらも、「このダンジョンをクリアするまで待つて」とか言ってひんしゆくを買いながらも没頭していましたが、議論と実践を重ねながらルールづくりが進み、たしか①1回1時間以内を厳守②娘→父→母のローテーション厳守③ローテーション待ちの時間は家事を手伝う④ネタばれなし、などだったかなと思います。

他にもこのルールから育まれたものがあります。それは譲り合いと自制。先にやっていいよとか時間が来たからやめるとか、ゲームに夢中になっていると、こんな単純なことがとても難

しいときがありますよね。でも、そこで焦らずに我慢と気持ちの切替を繰り返すと、慣れというか身についてきますよね。

残念なことに、今の大人たちの中には、自制心が欠けているような人を見かけます。意に沿わないとすぐに怒鳴る人、人のもたつきにイライラを露わにする人、自分の正義をふりかざして他人を攻撃する人などなど。周りの状況や相手の心情を考えずに自分のものさしだけで価値判断する大人たちが増えたような気がします。自制できない人は、人を受け入れたり、許すことも苦手。自制と寛容は社会が成り立つ前提条件です。オンラインゲームやSNSのつながりの中ではなおさらです。

中学生の皆さんは今、いわゆる大人への階段を上る途中。自制と寛容を身につけた素敵な大人になってほしいものです。鶴居村の中学生には無用の心配かもしれませんね。

それにしても、ドラクエXオフラインが待ち遠しい…